令和6年第5回大野城市議会 12月定例会一般質問通告

○本会議（3日目）一般質問

令和6年12月12日（木） 午前9時30分（於 議 場）

議員氏名	件 名
森 和也	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大野城市地域防犯基本計画における取組状況について <ol style="list-style-type: none"> (1) 犯罪の現状について (2) 市民一人一人の防犯意識づくりについて (3) 防犯力の高い地域づくりについて (4) 犯罪における弱者の安全確保づくりについて (5) 犯罪を抑制するまちづくり・犯罪被害者への支援について 2. 教育・保育現場でのトラブル等の相談窓口について <ol style="list-style-type: none"> (1) 本市の小中学校では、2023年度末に休職・退職した教員の方は何人、何%か。また、天理市が昨年秋に実施したアンケートでは「日常業務で保護者対応を負担に感じている」と回答した教職員が小中学校で77.5%に上ったとあったが、本市でこのようなアンケートを実施しているか。アンケートのデータがあれば教えていただきたい (2) 本市小中学校教員の、欠員状況はどうか (3) 本市にも、天理市が設置した「子育て応援・相談センター」のような事業が必要ではないかと考えるがいかがか
平田 不二香	<ol style="list-style-type: none"> 1. 支援が必要な児童・生徒のより良い進路選択のために <ol style="list-style-type: none"> (1) 発達障がいなどの特性を持ち支援を必要とする児童・生徒の現状について (2) 福岡県と福岡市は、それぞれ県立と市立の特別支援学校に障がい者福祉情報誌を配布して、障がい者雇用企業の情報提供を始めている。本市においても市内小・中学校の特別支援学級や適応指導教室、放課後等サービスなどに情報誌を配布して、児童生徒、保護者に必要な情報を届けてもらいたい、いかがか 2. 本市職員の働きやすい職場環境のために <ol style="list-style-type: none"> (1) 経営資源マネジメントについて
福澤 信光	<ol style="list-style-type: none"> 1. バスの充実ときめ細やかな対応 <ol style="list-style-type: none"> (1) 西鉄バス及びコミュニティバスに関して、令和5年度に実施した市内の交通に関する実態調査についての対象人数と回答数は (2) バス停にベンチが有るバス停とベンチが無いバス停が見られるが、この、有る所と無い所の違いは何か (3) バス停にベンチを設置する際、行政と西鉄のどちらが「ベンチを設置しよう」と提案するのか (4) これまで西鉄下大利駅に向かうバスは、「上大利のバス停から下大利岩田屋の前で停車し、下大利駅西口に向かうルート」だったが、10月26日から大きく変わり、上大利バス停からアンダーパスを通過して「どこにも止まらず」下大利駅で停車するようになった。この事について近隣住民はもちろん、バスを利用する方々への事前説明はあったのか (5) バス停の設置にあたり、行政職員が関係者と交渉するのか (6) アンダーパスを通過した後のバス停はいつまでに設置するのか (7) コミュニティバスに関して、令和5年度に実施した実態調査の中でどのような意見があったか

	<p>(8) なぜコミュニティバスを中央地区から南地区に通せなかったのか改めて伺う</p> <p>(9) 西鉄バスルート変更に伴い、旧西鉄バス運行ルートを活用してコミュニティバスを中央地区まで広げれば、従来通り登校・出勤時にバスを利用する方は新ルートで満足度が上がり、また、特に高齢の方で車も自転車も乗らない方は、コミュニティバスで買い物や病院等に行ければ満足度も上がると思うが、市の見解は</p> <p>(10) 近隣自治体のコミュニティバスが相互に乗り入れをする計画はあるか</p> <p>2. 自転車のマナー等の徹底と周知</p> <p>(1) 前年度の自転車に関する事故は福岡県で何件あったか、また、大野城市では何件あったか</p> <p>(2) 「福岡県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を改正し、「福岡県自転車の安全で適正な利用の促進及び活用の推進に関する条例」が令和2年4月1日に施行された。また、自転車保険への加入義務化に関する部分については令和2年10月1日施行とされているが、条例が改正された主なポイントは</p> <p>(3) 現在、市職員全ての方で自転車通勤をしている方は何人位いるのか。また、自転車保険の加入割合はどうなっているのか</p> <p>(4) 自転車の交通ルールである自転車安全利用五則には、1. 車道が原則左側を通行。歩道は例外歩行者優先、2. 交差点では信号と一時停止を守って安全確認、3. 夜間はライトを点灯、4. 飲酒運転は禁止、5. ヘルメットを着用、とあるが本市での周知方法は</p> <p>(5) 5年前の一般質問において、自転車専用レーン設置の取り組み効果を尋ねたところ「以前よりも安全性が増した」と回答した歩行者の方がおよそ60%、また「快適性がました」と回答した自転車の利用者がおよそ70%、との回答であったが、自転車専用レーンの計画はどのようになっているのか伺う</p> <p>(6) 歩道の幅が狭い所は、自転車専用レーンを設置することが出来なく車道を走らなければならないが、ある程度の歩道幅がある場所に関しては自転車専用レーンを作ることで、車・バイクとの接触を避けることが出来、自転車の快適な空間を作ることが出来るため有効と考える。そこで改めて自転車専用レーンを市内に設置していくか伺う</p> <p>(7) 市職員全ての方で自転車通勤をしている方の内、ヘルメットを着用している方は何人くらいで何割の方がいるのか</p> <p>(8) 以前も提案したが「自転車安全利用五則」の看板を作り、各場所に設置するなどの考えはないか</p>
岡部 かおり	<p>1. 安全で安心な水泳授業のあり方について</p> <p>(1) 市内小学校における水泳授業の民間委託について</p> <p>2. 市内中学校における全国大会の補助金について</p> <p>(1) 本市の中学校部活動支援事業について伺う</p> <p>(2) 補助金を使用した学校の有無や支出額を伺う</p> <p>(3) 全国大会へ参加する場合にかかる一般的な費用について伺う</p> <p>(4) 令和5、6年度の市内中学校部活動の全国大会の実績について伺う</p> <p>(5) 全国大会へ参加する場合、市の中学校代表で参加するので、生徒や引率者の費用について、どのように考えるか伺う</p>
中村 慎一郎	<p>1. 市のハラスメント対策について</p> <p>(1) 本年、本市のハラスメント事案に関する記事が複数掲載されたが、ハラスメント対策へ取り組む市長の姿勢及び意欲について伺いたい</p>

	<ul style="list-style-type: none"> (2) 第三者調査委員会のメンバー選定の経緯と調査の状況について (3) 市職労アンケートの公表が市ハラスメント事案に関する第三者調査委員会の調査に影響を及ぼすことはないか (4) 本市職員のメンタルヘルス対策とメンタルヘルス・マネジメントの導入や資格取得に係る補助について滞在時間はどれくらいか伺う (5) 本市の学校におけるメンタルヘルス・マネジメントの推奨や資格取得に係る補助について <p>2. 大野城市中小企業振興条例の具体的な施策について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 条例施行後に実施された施策や現在策定中の振興策について (2) 本市の事業者に対するメンタルヘルス・マネジメントの推奨や資格取得に係る補助について
河野 敏生	<ul style="list-style-type: none"> 1. 主権者教育について <ul style="list-style-type: none"> (1) 選挙における主権者教育について (2) 中学生への主権者教育について 2. 教職員の人権感覚の涵養について <ul style="list-style-type: none"> (1) 教職員の人権感覚の涵養に繋がりうる研修会について 3. 大野城市のハラスメント調査について <ul style="list-style-type: none"> (1) 第三者委員会の調査方法について (2) 第三者機関による相談体制について
永利 恭子	<ul style="list-style-type: none"> 1. 生活に困難をかかえる市民への支援について <ul style="list-style-type: none"> (1) 生活保護制度の正しい理解のために生活保護制度の概要と本市の生活保護の現状について尋ねる (2) 本市におけるケースワーカー1人当たりの担当ケース数や専門の資格をもった職員の配置など、職員体制はどうなっているか (3) 日本の生活保護の捕捉率は20%程度と諸外国に比べて低いと言われているが、そのことを受けて本市ではどのような対応をしているか。また、本市の生活保護世帯数や人数の今後の見込みは (4) 本市における市民税や国民健康保険税等を滞納している方へはどのような対応をとっているか。困窮者支援につなげたことはあるか (5) 社会福祉法に規定されている重層的支援体制整備事業の実施を検討しているか 2. (仮称)防災危機管理センターについて <ul style="list-style-type: none"> (1) 現在の計画はどうなっているか。費用についてはどのように考えているか (2) 市庁舎周辺は、警固断層南東部を震源とするマグニチュード7.2の地震を想定した場合、震度6強の揺れが予想されているが、建築場所の選定は適切か。主たる目的は地震対応か、それとも庁舎の増築か。景観等への配慮はどうなったのか (3) 防災危機管理センターの建築は、本当に今優先すべきことか。そもそも具体的にどのような災害を想定しているのか。周辺自治体との連携はどうなっているか (4) 防災危機管理センターという名称について (5) 市庁舎耐震工事で市庁舎の寿命はあと何年に延びたのか。また、20年後30年後の市庁舎の建て替えについてどのように考えているか (6) 平時の活用についてはどのように考えているか 3. 市長が市職員労働組合の調査報告書を事実上放置したとの新聞記事について <ul style="list-style-type: none"> (1) パワハラという言葉もあったのに危機感を持たなかったのか

	(2) 職員や市民との対話が不足し、要望に真剣に向き合っていないのではないか
--	--

○本会議（4日目）一般質問

令和6年12月13日（金） 午前9時30分（於 議 場）

議員氏名	件 名
大塚 みどり	1. 小中学校のトイレの環境整備について (1) トイレの洋式化について (2) トイレ掃除について 2. 本市の読書環境について (1) 子どもの読書環境の推進について
河村 康之	1. 福祉タクシー料金助成事業の現状と今後について (1) 福祉タクシー料金助成事業の現状について (2) 福祉タクシー料金助成事業の更なる拡大について 2. 本市の情報発信とその活用について (1) 本市が行う市民への広報等の情報の発信状況について (2) 本市公式LINE内のメニューにある損傷報告について
松崎 百合子	1. 困難な問題を抱える女性への支援について (1) 本年4月に施行された女性の人権を基本とした新法である「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律（以下「困難女性支援法」という。）」について (2) 本市における困難な問題を抱える女性からの相談と支援の現状について (3) DV被害者の新たな困難について (4) 困難な問題を抱える女性に対する支援計画を策定をする必要があると思うがどうか 2. 発がん性等があると指摘されるPFAS（有機フッ素化合物）汚染対策について (1) PFAS（有機フッ素化合物）対策について国からの通知等はどうなっているか。PFAS対策について市の考えを伺う (2) 水道水の浄水処理の方法、及び水道水のPFASの検査状況はどうか (3) 汚水処理の方法、及び処理後の汚水、汚泥のPFASの検査状況はどうか。また、汚泥はどのように処分されているか (4) 地下水、河川、土壌のPFAS検査状況はどうか 3. 戦後80年、非核・平和都市への取組について (1) 本市では1989年6月「非核・平和都市宣言」に関する決議を市議会が行っている。また、2011年8月には、166か国8,429都市が加盟する平和首長会議にも加盟している。「非核・平和都市」の発信について (2) 被爆80年を前に、「日本原水爆被害者団体協議会（被団協）」に対してノーベル平和賞が贈られることとなった。また、本年11月13日には、大野南小学校で筑紫原爆被害者の会のメンバーによる平和学習が行われている。戦後80年に向けて、「非核・平和都市」への取組について市長の考えを伺う
井福 大昌	1. 福祉事業に現場感覚をプラスして万全に (1) 敬老祝い金配付に現場の声を取り入れて、今後も持続可能な事業に (2) 「現場」の明暗をわけた緊急連絡カードを (3) バリアフリーにも現場の声を
原田 真光	1. 「闇バイト」対策について (1) 首都圏を中心に「闇バイト」への応募を端緒とした匿名・流動型犯罪グループ（トクリュウ）による強盗が多発している。福岡でも業者

	<p>を装った不審者の住宅への訪問が相次いで報告されていることについて</p> <p>(2) ソフト面の対策について</p> <p>2. 大野城市職員等の職場環境の改善について</p> <p>(1) 本市では正規職員の人数を段階的に増やしていく計画になっているが、現状での負担を減らす為に会計年度任用職員や任期付職員を一時的に増員する必要があると考えるがいかがか</p> <p>(2) カスタマーハラスメント（カスハラ）対策について</p>
<p>松崎 正和</p>	<p>1. 市議会議員の資産報告書訂正拒否に対する市の対応について</p> <p>(1) 現在の「大野城市政治倫理条例」は、平成元年に制定された条例がその後改正されたものであるが、この条例が制定されるに至った背景についてご報告いただきたい</p> <p>(2) 令和6年7月24日に「政治倫理審査会」から出された「資産等報告書審査意見書」には「資産等報告書の訂正要求を拒否されている」旨の記載がある。政治倫理審査会の意見は重いものであり拒否されることがあってはならないものとする。政治倫理審査会からの意見の重みについて、市当局はどのように考えるか伺いたい</p> <p>(3) 大野城市政治倫理条例第8条第2項には、資産等報告書に疑義があるときは必要な調査を行うことができると規定されているが、「疑義ある者や訂正に応じなかった者」に対する更なる調査が可能となるような条例改正の検討も必要かと思うがどうか</p> <p>2. 新聞報道「大野城市長 パワハラ放置」について</p> <p>(1) 2022年10月の市職員労働組合の調査報告書によると、市職員は2年前からパワハラの実態を市上層部に直訴したが、井本市長は決裁印を押しながら事実上放置したとのこと、何故か</p> <p>(2) 市側は当時、この調査報告書を「匿名で真偽も不明、誇張表現の可能性もある」として「参考資料」扱いにした。その後も調査せず、「具体的な事例は確認できていない」とパワハラの実態を認めていない。とあるが事実か</p> <p>(3) 新聞記者の「報告書を受け、何か対策を考えたのか」との問いに、「手をこまねいていたわけではない。パワハラだけではなく全体的な対応を考えた」とのことだが、全体的な対応とは何か</p>
<p>平井 信太郎</p>	<p>1. 地域猫活動団体について</p> <p>(1) 令和2年度から事業開始した地域猫活動の団体は、増加しているようだが、令和2年度から現在までの地域猫活動団体数の推移はどのようなになっているか</p> <p>(2) 地域猫活動団体への支援について</p> <p>2. 不登校支援施設について</p> <p>(1) フリースクールについて</p> <p>(2) 放課後等デイサービスについて</p> <p>(3) スクールソーシャルワーカーについて</p> <p>(4) 今後の不登校に対する教育長の見解を尋ねる</p>